

# なぎそ 議会だより

平成28年6月定例会・全員協議会



## 議会の眼：議場に、傍聴用スクリーン登場

町長所信表明：議会冒頭の所信表明全文 .....	19P～22P
6月定例会で審議した議案：特別職の常勤の者の給与に関する条例の改正など .....	23P
一般質問：8人の議員が質問 .....	24P～29P
補正予算審議：主な質疑（放課後子ども教室の設置、キッズスペースなど） .....	30P～31P
全員協議会：小水力発電計画、国保坂下病院外科の閉鎖 .....	32P～34P
委員会報告：総務文教常任委員会、リニア新幹線特別対策委員会 .....	35P

# 向井町長 所信表明

新しく町長となった向井裕明町長が行った、議会冒頭の所信表明全文です。

## （はじめに）もつと 南木曾を元気に

この度、町民の皆様方の温かなご支援を受けて南木曾町長に就任いたしました。町が様々な悩みを抱え、この方向に進むべきか迷うこの時に、町政の運び取り役を引き受けることの重大さを心に銘じ、町民の皆さん、並びに議会議員各位の期待を裏切らないよう、誠心誠意頑張る所存であります。どうか宜しくお願い致します。

南木曾町も合併以来、多くの他の自治体同様に「過疎」という厳しい洗礼を浴び続け、昭和36年の三村合併時には1万人を超えていた人口も4,300人台まで減少してしまいました。人口問題については、これまでも様々な対策が講じられ、現在も国が旗を振る地方創生推進事業に基づいた施策などが実施されています。しかしなが

ら、南木曾町において昨年一昨年はともに年間130人も人口が減少し、急激な落ち込みを見せ始めるなど、町には閉塞感さえ漂う状況となってきました。私はこの緊急事態とも言える状況を憂えるばかりでなく、出来ることから先ずやっていく、例え今出来ないことであっても、明確な意志のもとに目標に向かって進んでいく覚悟であります。

先頃のオバマ大統領の広島訪問は、現役アメリカ大統領として初めて原爆被爆地訪問という歴史的な一幕でつない明るい朝、空から死が落ちてきて世界は変わった。」に始まるスピーチは、核軍縮に対する理念をメッセージとして伝えただけでなく、政治家が持つべき姿勢、姿をも打ち出しています。「私が生きているうちにこの目標は達成

出来ないかもしれないが、たゆまぬ努力が大惨事の可能性を小さくする。」とも述べ、現実を見据えた中にも自らの意思を未来に託しました。

私は本日ここに、南木曾町長としての所信表明を申し上げます。これは、これからの4年間に取り組んでいく政策、構想の一端であると同時に、すぐに出ること出来ないことの差はあれ、何かしらの形で実現に向けて努力していくことの意志の表れとしても、受け止めて頂きたく存じます。



## もつと 身近で・親しみやすい町づくり

町づくりを進めるにあたって、住民の皆さんと行政が同じ方向を向き、互いに力を合わせて進めていくことは申すまでもありません。これまで以上に、行政（役場）も町民の中に飛び込んで、情報交換を密にし、課題を見つけ出し、住民の皆さんの意見やアイデアを活かしながら課題解決が迅速に出来るように努めていきます。住民の皆さんにとつて、もつと身近で・親しみやすい町政（役場）にしていくことが必要です。就任にあたって職員の方々に「住民の皆さんの話を聞く」、「地域に関わる」、「出来ることはすぐにやる」ことをお願いしたばかりです。

・気軽な対話やもの言い易い集会とするために、これまで7地区で開催していた

住民懇談会より規模の、それは一つ二つ三つ程度の区の少数単位であっても私自らも参加して住民の皆さんの声を聞く「ミニ集会」の開催を年間通じて行っています。一方、町の現状や取り組みなどをお伝えする場としてこれまでのような地区懇談会形式なら「行政報告会」も開催していきます。先日の全区長会でもこのことは既にお伝えしたところですが、また、声をお聞きするだけでなく、「やくば」をアドバイス機関や相談窓口として利用頂くことにも応じるなど町民の皆さんにとってより親しみのある組織を目指していきます。そのため、役場内の機構見直し作業を既に始めたところでもあります。

・広報誌を読みやすいものにする、広報無

線やケーブルテレビなどを効果的に活用する、会議の文書などを図・写真などで判りやすくするなど、とかく難しく煩雑な町政のイメージを変えていきます。また、事業の進み具合や達成度をお知らせすることにも努め、より住民理解を得られやすい町政運営を心掛けていきます。

・従来から慣行的に行われてきている町が関わる各種組織や団体について、今の暮らしや地域の様子などとも照らし合わせた上で、必要に応じて見直し改正作業を進め一緒に考えていきます。公的組織や関係機関においては、女性を登用するなど積極的に女子力を活用し、女性感覚を町づくりに活かしていただくように努めます。役員内では、均衡の取れた労働と余暇（ワーク

ライフバランス）を推奨して地域に貢献出来る人材確保に努めてまいります。

もっこ

思い切り定住化

今回の選挙にあたって、定住化を促し、活気ある地域を取り戻すための施策を積極的に取り組んでいくことについて多くの方のご理解を頂戴しました。町の事業はそれぞれに目的を持って行われている訳ですが、結果として、定住化や町の活気につながることを常に意識しながら事業に取り組んでいきます。少しでも早く「住んで良かった、暮らして良かった、住むなら南木曾」となるように、効果的と思われる事業は積極的に推進してメリハリある施策を行っていきます。

・南木曾に住みたい・働きたい人達の受け入れが出来るように、

町営住宅の確保や宅地分譲など住む場所確保の取り組みを行っていきます。住環境の整備にあたっては、各種世代や利用者に合わせて町営住宅の整備や入居基準に工夫を凝らすほか、小規模菜園付住宅、山付・畑付き借家などの事例のようなアイデアを活かしながら、魅力ある住宅・空き家対策を進めて住環境を整えていきます。受け入れにあたっては、若者・子育て世代、通勤者、U・イターンなど様々な方を想定した上で、誠意ある対応により一人でも多くの方に南木曾に暮らし、働いて貰えるよう庁舎内に専用窓口の設置について検討を進めます。

・定住化を進める上で、働く場を確保することは喫緊の課題です。企業誘致はもちろん、事業所やサテライト

オフィスの受け入れなど就労場所の確保に向けての協力は惜しみません。地域産業や地域経済に直結する新規雇用確保のための取り組みのみならず、後継者・継業への支援も行っています。また、伝統産業や農林産物を活用した特産品や名物づくりが出来るように、町も一緒に研究などに取り組んでいきたいと考えます。観光面では、日本遺産指定と東京オリンピック効果により、更に増えるであろう外国人観光客への対応を怠らないようにしながらも、新たな資源開発を進め、個性ある繰り返し訪れて頂ける観光地となるように受入体制づくり・情報発信に努めていきます。妻籠宿については、保存精神の継承と地域活性化につながる取り組みを地域や関係の皆さんの

意見を丁寧に聞きながら町も一緒になって取り組んでいきます。

・生活の利便性を高めるために、商工会が進めるコンパクトシティ構想実現に向けての協力や、通院買物バス・タクシー利用などについて、少しずつでも利用しやすい形に改善を進めていきます。又、県道の改良、整備促進を働きかけると共に、木曾川右岸道路や主要地方道の早期改良を強く要望し、隣接地域へのアクセスや代替道路の確保・交通安全の推進を図っていきます。

・忘れてはならないのが、一昨年の7・9南木曾豪雨災害です。つらい教訓をしっかりと活かし、一人一人の命を守るべく防災力を高めるために砂防や治山事業の働きかけを強め、合わ

せて山林の手入れなども進めながらより強靱な国土を形成して郷土を守っていきます。災害の記憶・伝承を行うとともに、非常時助け合いや要援護者支援なども含めて地域防災力を向上させていかなくはなりません。また、緊急時の情報伝達がスムーズにいくよう、わかりやすい火災告知放送に努めます。

・恵まれた豊かな大自然を後世に伝えるべく、景観保全・美化活動を奨励し、環境面でもエコ活動やCO2削減への取り組み自然エネルギー活用の研究に取り組みます。さしあたって、小規模バイオマス発電のお話も頂いていますので、町内に住民生活も考慮した上での適地を見つけて、林業や運輸・加工工場なども含め、規模は小さくとも地域経済が循環する仕

組みづくりの研究を早急に進める考えです。現在建て替えが進められている木曽クリーンセンターの平成30年4月稼働に向けて、一層のごみの減量、資源再利用に努めるほか、限られた資源を有効に使えるよう啓発活動を行います。さらには、鳥獣被害対策として、猟友会への支援などを強化しながら、緩衝帯整備の研究を深めるなど、農作物の被害防止と荒廃農地の増加を防ぎ、遊休農地の有効利用を進めていきます。

・リニア中央新幹線については、工事・環境にかかるリスク軽減を求めて、J・Rとの具体的交渉を一定の成果が得られるまではこれまで通り対策協議会を中心に続けていきます。一方、将来を見据えた中では、リニア岐阜県駅のみならず神坂

もっと  
育て「なぎそっ子」

スマートICも含めた活用構想について、他地域の情報収集を進めるなどの研究を始める時期を迎えているものと考えます。

定住化の推進にあたっては、現状の課題への対策にとどまらず、子どもや青少年の育成など次世代をも視野に入れた取り組みが必要です。また、ハード面の整備はもちろんのことソフト的な支援も重要になってきます。若い人たちが社会人となり地域での生活が始まると、その後には出会い、結婚、出産、子育て、教育といった営みが行われていく訳ですがそれぞれの場面を大切に施策が必要です。私達の役割のひとつは、彼らがどこかで「南木曾に住もう」「定住しよう」との決断が出来る状況や環境を作り出していくこと

であり、出会いから子育て、教育といった道の場面にいても途切れない支援が出来るよう継続的な支援体制の確立を図っていきます。そのためにも、若い人の意見や要望を参考にしながら、彼らの声が反映されるような町政にしていかなければなりません。

・出会いの場についても、日頃からの若者達の活躍を支援する中で生み出せるようにしていきます。

・少子化対策としては、これまでも町は子どもの医療費無料化などの各種支援策を打ち出してきました。一層の支援強化を図れるよう、国県の不妊・不育治療の補助制度に更に町独自の乗せをしていきます。妊婦、出産後の母子支援についても検討を進めていきます。

・魅力ある学校づくりを目指して、保護者・地域との信頼関係、連携を基盤に据えた学校運営を支援し、地域に開かれた学校となるよう行事や部活動に協力していきます。保小中高による地域連携教育

・保育子育て支援については、共働き家庭のニーズにあわせた保育預り時間の延長など保育サービスの充実を図ります。保育園園庭の一部を芝生にするなど安心出来る遊び場の確保・児童保育の充実を進め、子どもの居場所についても確保していきます。子育て家庭の経済的負担軽減となるよう、子どもの予防接種の補助制度拡充について検討していきます。また、多子世帯・ひとり親家庭の育児や子育てについても、必要に応じて町が関わりながら支援を進めます。

・蘇南高校の存続発展のために、特色ある学校づくりが欠かせません。既に独自の支援制度を行ってはいますが、より県や学校などと連携協力しながら、地域や地元企業に結び付く人材育成と進学後でも戻って来やすい態勢づくりを整えていきます。例えば、地元就職者への奨学金返還援助といったような何らかの支援措置を検討します。

・障がいを持つ子どもや支援が必要な子ども達に対しては、関係機関、家庭と連携を密にして、乳幼児期から成人に至るまで継続的な支援が出来るようにしていきます。

もっと健康に  
ハッピーライフ

・保育園、小中学校では、安心安全に配慮したおいしい給食と地元農産物の給食利用を進めて豊かな食育を推進します。

誰もが最大の願いは、健康で幸福な人生を送ることにあると言っても過言ではありません。身近な場所に安心出来る医療体制と頼りがいのある福祉体制を確保しつつ、日々生き生きとした生活を送れるように、文化・スポーツを活用しながら、一人一人の生きがいづくり・健康づくりを推進していきます。

・地元医師、木曽病院や坂下病院といった現状の地元医療体制の維持に努め、身近で安心出来る医療体制となるための取り組みを行っているいきます。県や関係機関への働きかけを行うとともに、地元医療機関からの要請についても可能な限り応えていきます。医療機関との一層の連携強化を図りながら、広域的な緊急医療体制の整備にも努めていきます。

・健康教室や運動教室などを活用しながら健康づくりを推進し、検診受診率を向上させるための工夫を凝らすなど、病気の予防に努めて医療費を抑制していきます。

・誰にでも、優しく、身近で、頼りがいのある福祉施策に取り組む、社協、NPO、医療機関などの各種団体と連携し、認知症・介護予防も行いながらハツラツと活躍出来る長寿社会を目指します。介護サービスや居宅介護、介護する側へのサポートなど包括ケアを充実させ、関係機関が連携する中で

住民も加わった見守り体制の整備により、高齢者が安心して暮らせる地域を目指します。

どの記録を映像冊子等で保存する取り組みを行っているいきます。

むすびこ

・既存の「第9次南木曾町総合計画」は来年度に前期計画終了年度となるため、これに合わせ「第2次南木曾町自立推進計画」の検証作業を進めていきます。又、南木曾町の財政運営は今もって厳しい状況にあることは変わりありません。私は施策を遂行するにあたって、その厳しさを忘れずに、規律ある財政収支を心掛けていくために、町長以下特別職の当面の給与カットを案件として今議会に提出させて頂きます。

・仲間づくり、生きがいづくり、農山村ならではの地域コミュニティ維持のために公民館活動、生涯学習活動を大切にしていきます。講演会、映画祭、町民スポーツ大会の開催など文化・スポーツ活動を推進します。特に、チャレンジクラブの自立を応援し、健康マラソン継続に向けた支援を行います。歴史豊かな風土と文化を守り、伝えていくためにも、伝統行事や慣習、動植物な

以上の町を元気にするための各種施策を申し述べました。

今年の正月から就任までの4カ月余り、私はそれまで町職員として行政に関わってきた立場を離れ一町民としての生活を過ごしました。行政の外側から見ると、その仕組みや組織の確実さ、適切な措置に改めて感心する一面、その複雑さ、物事が進まぬ歯がゆさを感じたところ。町長の立場となっても、例えばホームページの修正をする場合に、自分のホームページの書き換えを委託していた時にはお願いしてから遅くても3日後には修正が

出来ましたが、町の場合には、同様の作業がすぐに出来る場合と30日経っても出来ないことがあります。一般の方の感覚では「どうして?」「何をやってるんだ?」と思うのは当然ですが、しかし、これはパソコンやソフトの仕組みがどうの担当部署がこうのといったことではなく、行政と

この組織というものはそういう組織

なのです。法律に基づき間違いや失敗をしない、他への影響や釣り合いなども考慮した上で、確実なことしか出来ない仕組みになっています。この仕組みは守りつつも、町民の皆さんの感覚も大切にしなければいけません。確かな施策をスムーズに行っていくこと、定住化推進、地域の活力を呼び戻すといった目標も、この延長線上にある筈です。私の最初の任務は、この確実さを守りつつも、可能な限り30日を3日に近づけていくことです。そのためには、まず「住民の皆さんの話を聞きながら」「出来ることとはすぐにやる」こと。就任以来職員の方さんにも既に何度かお願いする中、率先して動いて頂いたり心がけて頂いている場面も出てきています。9月議会には、役場組織の機構改革案を上程して、より目的達成のために動きやすく、住民の皆さん

に親しみある組織となるように組織見直しを行うことも予定しています。

「隗(かい)より始めよ」自ら住民の皆さんの中に率先して出向き、意見を交わし、町民の皆さんや議会の皆さんと一体となって町づくりを行ってまいります。その先にある、町民の皆さんの健康で幸せな生活と、活力ある地域社会、元気な南木曾町を見据え、皆さんと共にこの目標を追い求めながら、与えられた4年間を精一杯頑張っていく予定です。

どうか、町民の皆さん、議会の皆さんのご支援、ご理解、ご協力を頂きますよう、重ねがさねお願い申し上げます。冒頭にあたり所信表明と致します。

どうぞ、宜しくお願ひ致します。皆さん、一緒になって「もつと南木曾を元気に」していきましよう。

# 6月定例会 可決議案

## ●特別職の常勤の者の給与に関する条例の改正

町長、副町長、教育長の給料月額を平成30年3月まで引き下げるものです。

### 〔改正後の月額〕

町長 55万円(20%減)

副町長

53万5千円(10%減)

教育長

52万円(3%減)

## ●地域文化・産業振興施設等の設置に関する条例の改正

平成27年6月に「柿其緑地等利用施設(杣の家)」を解体したため条例から削除するものです。

## ●町道路線の認定と変更

梨子沢沿い道路付け替えに伴い、小学校梨子沢線を新たに認定し、大原線と梨子沢線の起

点を変更するものです。

## ●社会体育館移動式バスケットゴールの取得

取得金額

816万4800円

### 契約の相手方

メディアアック株式会社

## ●防災行政無線(同報系)設備デジタル化更新工事請負契約の締結

契約金額

1億1988万円

### 契約の相手方

沖電気工業株式会社  
長野支店

## ●戸籍に係る電子情報処理組織の事務の委託

託

上松町、南木曾町、木祖村、王滝村及び大桑村の、戸籍法に基づく戸籍事務等を電子情報処理組織により処理

するために、必要な機器を木曾町に設置し管理を委託するものです。(P32全協参照)

## ●平成28年度量水器購入

取得金額

911万9520円

### 契約の相手方

東洋計器株式会社  
松本営業所

## ●教育委員会の委員の任命に同意

岡田 政晴(再任)

南木曾町読書(岩倉)

## ●副町長の選任に同意

勝野 実(新任)

南木曾町吾妻(渡島)

## ●教育長の任命に同意

伊藤 信男(新任)

南木曾町田立(向粟畑)

## ●平成27年度一般会計繰越明許費の報告

農業施設災害復旧事業、橋梁補強事業(くちなし沢2・3号橋)、

臨時福祉給付金事業など28事業が28年度へ繰り越されました。

(P32全協参照)

## ●平成27年度簡易水道事業特別会計繰越明許費の報告

三留野妻籠簡易水道施設災害復旧事業などが28年度へ繰り越されました。

## ●専決処分事項の報告

事故の和解及び損害賠償の決定

草刈り作業中に小石が飛散し、車両窓ガラスを破損させた事故について損害賠償した報告です。

## ●TPPに関する情報開示の徹底と持続可能な農業経営の実現に向けた農業政策の確立を求める陳情書

TPP協定承認案及びTPP関連法案の国会審議の内容等、十分な情報の開示と明確な説明による審議の進行

や生産者が安心して営農継続できるよう中長期的な農業政策の確立を要望するものです。

提出者 J A木曾 代表理事組合長 高橋 徳

結果 採択・意見書送付

木曾広域連合 議会報告

木曾広域連合5月定例会の主な内容は次のとおりです。

●議会の議員の議員報酬並びに特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の改正

非常勤特別職に「木曾寮あり方検討委員会」を追加するための改正です。

●平成28年度一般会計補正予算(第1号)

1371万1千円を追加し総額41億2127万円となりました。主に人事異動に伴う人件費補正と当初予算編成時未確定だった事業の確定によるものです。

●平成28年度介護保険特別会計補正予算(第1号)

93万8千円を減額し総額41億5729万1千円となりました。主に人事異動に伴う人件費補正です。

●物品購入契約の締結

契約目的 消防ポンプ自動車

契約金額 3726万円

契約の相手方 CSK総合防災株式会社

●請願・陳情

TPPに関する情報開示の徹底と持続可能な農業経営の実現に向けた農業政策の確立を求める陳情書

TPP協定承認案及びTPP関連法案の国会審議の内容等、十分な情報の開示と明確な説明による審議の進行



# 6月定例会 8人の議員が一般質問

- ◇所信表明、介護予防、通院バス (矢澤)
- ◇地域防災力 (松原)
- ◇思い切り定住化、災害弱者対策など (赤坂)
- ◇所信表明、坂下病院外科閉鎖対策 (早川)
- ◇新交通システム、三留野駅周辺活性化 (近藤)
- ◇災害時における町の対応 (伊藤)
- ◇出会いから子育てへの支援、坂下病院の問題など (坂本)
- ◇南木曾町創生、常会の予算増 (北原)



矢澤 和重

## 所信表明について

**質** 第9次南木曾町総合計画との相違点は何か。

**答** 所信表明は町長としての理念や方向性について述べたものです。政策について総合計画と照らし合わせて、できる内容はすぐ推進し、変更が必要なのは見直す必要があります。

**質** 第2次南木曾町自立推進計画は今後どうするのか。

**答** 来年第9次総合計画の前期見直しをする中で自立推進計画も検証作業を行います。

**質** 所信表明で、町長は通常3日で

できる仕事が町の場合には30日かかるとある。町の職員は仕事ができないと言っているのか。

**答** 例えです。町の場合には、事情により時間がかかる場合も多くあります。

**質** 補正予算にどのように反映させているか。

**答** 実施計画で未計上事業などを載せました。

**質** 福祉政策についてどのように考えているか。

**答** 福祉政策の目標は一人ひとりが健康で幸せな生活を送れることだと思ふ。人と人との結び付きを基本として、行政は社協、NPO、様々な団体と連携しながら取り組んでいきます。

## 介護予防・日常生活支援総合事業の見直しは

**質** 平成28年4月から始まった新しい事業内容はどうなっているか。

**答** 平成29年4月に介護保険から要支援一、二の「訪問型サービス」「通所型サービス」が完全に切り離され要支援一、二のサービスが日常生活支援総合事業に変わります。新しい包括的支援事業で、生活コーディネーターの配置・支援、地域支えあい有償ボランティア育成を行っています。

**質** 地域支え合い担い手組織とは。

**答** 会員登録による有償ボランティア組織である南木曾町ア組織である南木曾町地域支え合いの会です。

**質** 今後の介護予防・日常生活支援総合事業の見直しは。

**答** 現在のサービスを維持していくには予算が必要ですが、今後の予算を確保できるかが課題です。

## 通院バス、高齢者タクシースターの見直しを

**質** 坂下病院の通院バスは、午前便しかない。高齢化も進み、透析をされる方や午後予約の方もいる。帰りが困っていると聞か、午後便の通院バスを出せないか。

**答** 通院バスに対する要望は多数あります。手続的には、地域公共交通会議を7月に開催し、できることから進めていきます。



利用しやすい通院バスを

**質** 高齢者、障害者タクシースターの増加はできないか。

**答** 日常生活の中で足の確保は大きな課題であり、乗車者の増加、対象者の緩和など総合的に検討していきます。

**質** 通院バス乗り継ぎ券は、タクシーから通院バスに乗る時出せないか。

**答** 地域公共交通会議で検討し、できると進めていきたいと思ひます。



近藤 隆

**もっと  
利用しやすい地域  
バスをめざして**

**質** 南木曾町新交通システム（地域バス）は、平成19年度に導入され、自動車を運転できない方にとっては大きな足であり、特に通院バスは、高齢者の方々の健康を守る大切な足である。地域バスを利用しやすい形に改善していくためにもアンケート調査をする必要があると思うがいかがか。

**答** 過去に、バスのあり方について利用者から聞き取り調査をしたことがあります。今後、地域公共交通会議を開催し、アンケート内容も含めて検討していきます。

**質** 向田から上の原・小学校横を通って南木曾駅着で通院バスに接続している与川線を、新町・上下仲町・坂の下経由にすることはできないか。

**答** 運行业者の意見も参考にして、地域公共交通会議で検討します。

**質** 三留野には、篠崎医院、水野齒科医院があるが、足の不自由な高齢者のためにもその近くに停留所を設けることはできないか。

**答** 7月の地域公共交通会議で検討していきます。

**質** 柳野・川向・天白を通って通院バスに接続できる路線運行はできないか。

**答** 以前、検討した経緯があります。地域公共交通会議で再度検討しますが、費用

や利用度などの課題があると思われま

**意見** 利用される多くは高齢者であり、早い検討と実施を願う。

**南木曾駅周辺の  
活性化に向けて  
組織の立ち上げを**

**質** 町の人口減少に伴い南木曾駅周辺の店舗も減りつつある。かつては、三留野には商業組合が組織され商店の話し合いの場があり活動をしてきたが、現在そのような組織はない。

**答** 町長が目指す「住んで良かった、暮らして良かった、住むなら南木曾」となるためにも南木曾駅前周辺の活性化委員会を組織できないか。

**答** これから町全体を見据えながら、どんな町づくりをしてい

くかを考えていかなくはなりません。他に商店街の振興策などと合わせながら、どう進めるかを検討していきます。

**意見** 今後さらに高齢化が進む中で商店が無くなってしまふことは買物弱者の増につながらる。また、南木曾駅は妻籠宿を訪れる観光客の玄関口でもあり、駅周辺の活性化に向けて是非とも組織の立ち上げを願う。



活気がある南木曾駅前！

**地域防災力に  
ついて**



松原 崇文

**質** 所信表明中の地域防災力とは、具体的にどのようなことをするのか。

**答** 区ごとで模造紙大に拡大したハザードマップを使用し、昨年度、三留野地区から始めて、与川地区、そして本年度は蘭地区で行っています。8月には、田立地区で行う予定です。

**質** 災害が起こった場合の避難の責任者は。

**答** 各区、自主防災組織体制です。で、区長さんの責任で行ってもらいます。

**答** これから相談しながら決めていきます。役割分担をしっかりとし、ハード面ソフト面両方とも充実させたいと思います。現在、区ごとにハザードマップを活用した話し合いをしていただいています。また、秋に行われる郡の防災訓練を良い機会として、町民の皆様には防災について意識を高めていただきたいと思います。

**質** ハザードマップを利用した区ごとの話し合いの内容は。

**質** 各地区にある備蓄品管理の責任者は。



**答** 現在、孤立しそうな地区を中心に備蓄品を置いてあります。保管・管理は、各地区で行っています。が、期限の切れた物の取り換えは町で行っていません。

**質** 現在、備蓄品を置いていない地区でも孤立しそうなところもあるように感じますが、要望があれば対応してもらえるか。

**答** 対応します。



ハザードマップ・防災の手引き  
お手元にありますか？



伊藤 寿子

**災害時における町の対応について**

**質** 南木曾町で、一昨年の梨子沢の災害では尊い命が失われ、悲しい思いをした。緊急避難場所は住民に周知徹底されているか。

**答** 町の指定避難場所には「ハザードマップ」に載っています。緊急的な避難場所は、地域で話し合っていたり、お願いしています。

**意見** 地区の会合は、ほとんどが男性である。女性の集まる介護予防サロンや婦人会へ役員職員が出向き、避難場所など災害についての「ミニ勉強会」開催を願う。

**質** 食料品について、関連業者であるスーパーやコンビニ等と連携を密にしているか。

**答** 現在町では生協（コープながの）と応急生活物資供給等に関する協定を結んでいる他、南木曾商工会とも支援活動に関する協定を結んでいます。コンビニについては、独自の災害時には、独自の災害時における物資の対応があり、今後考えていきたいと思っています。

**意見** 常に連携を確認していただきたい。特に梅雨に入る前などは連携を密にしてください。

**質** 備蓄品は期限がくれば取り替えるとの事だが、取り替えた物資はどうするか。

**答** 期限が来る前に地域で防災訓練を行う場合は使用しま

すが、残りは処分しています。

**意見** 処分するのはもったいないので、女性の集まりに分けていただければ無駄もなく良いと思う。

**質** 若い母親からの意見で、災害時の赤ちゃんの紙おむつや生理用品等を保育園に保管してはどうかという意見があったがどうか。

**答** それぞれの家庭にお願したいことは、災害初期の段階では、自らの命は自らで守らなければならない状況になります。各戸に配布されている「防災の手引き」にある「持ち出しリスト」に当面必要な物が記載されていますので、参考にして各自用意するようお願いします。それ以外に必要な物については、今後検討していきます。

**質** 町営住宅の整備や入居基準の基本的施策と、実施方法はどのように考えているか。



赤坂 孝

**「もっと思いきり定住化」を問う**

**意見** まずは、「ハザードマップ」や「防災の手引き」が各家庭にあるか確認する必要があるのでは。

**質** 町営住宅の整備や入居基準の基本的施策と、実施方法はどのように考えているか。

**答** 住環境の整備で、空き家の活用、住宅分譲の研究、リフォーム推進等、研究が必要です。専門的、集中的に取り組めるよう、係の設置など機構改革を検討して、10月に新部署ができるように準備していきます。

**質** 思い切った見直しを図り、地域より町への移住化、定住化を促す考えはないか。

**答** 補助金等の縛りで、入居基準がままならないものが多いです。そんな中で効果的方法を見つけれよう研究を進めたいと思います。

**質** 他地域からの通勤者に、なぜ町内の住宅を利用しないか、アンケート等調査を行う考えはないか。

**答** 検討します。担当部署ができた時には取組みを進めます。

**質** 後継者・継業への支援対策の基本的な考えと実施方法を問う。また奨学金支援は行わないか。

**答** 各企業等、個々に課題の違いがあります。まずは話を

聞き、共通の課題を見  
つけ、支援の必要を考  
えます。商工会のコン  
パクトシティ構想を早  
い段階で研究を進めて  
もらい、町も協力しま  
す。一例ですが町に住  
んだら奨学金返済の一  
部を援助する仕組みな  
どができないかといっ  
た研究を行いたいと思  
います。

**災害弱者対策は**

**質** 災害時に老年寄  
り、弱者の避難  
について、どの様な方  
法を考えているのか伺  
う。

**答** 災害弱者の避難  
対策は大きな課  
題で、要援護者デー  
タもプライバシー保護で  
簡単に提供できないも  
のがあります。幸い町  
は地域コミュニケーション  
ションが高く、該当者  
の同意を得て地域で対  
応をお願いしています。

**質** ハザードマップ  
のヴァージョン  
アップを図り、避難誘  
導者名を記載し、確実  
に行える体制作りを提  
案する。

**答** 拡大版のマップ  
を区毎に配布し  
ますので、区毎で話し  
合せて欲しいと思いま  
す。

**質** 防災訓練を町内  
全地区一斉に行  
う考えはないか。

**答** 町内7か所対象  
に順番に防災訓  
練を行っています。町  
内一斉は現時点では難  
しいです。

**町発注の公共工事  
への地元業者の  
参加状況は**

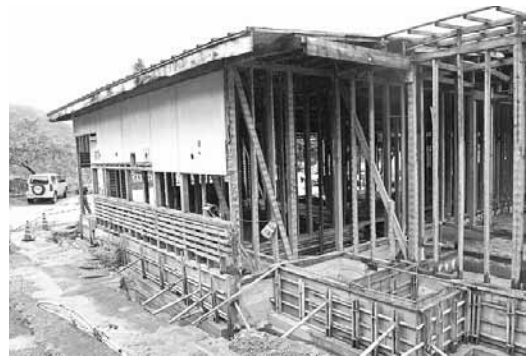
**質** 現在、蘭保育園  
の耐震化工事が  
行われている。蘭保育  
園の近辺に、電気、水  
道工事の業者がいるが、  
この工事の請負業者に、

地元業者参加へ  
の声かけについ  
て指導を行った  
のか伺う。

**答** 入札は公  
明正大に  
行うことが大切  
です。公共工事  
は地域経済に関  
連性があり、地  
元業者が参加で  
きるように工事  
の分割発注や、  
工種毎に分けた  
発注を研究したいと思  
います。入札前の説明  
では、可能な範囲でお  
願いしています。

**質** 昨年町発注の公  
共工事で、地元  
業者の参加工事が何件  
あったのか伺う。

**答** 5百万円以上の  
工事で通常工事  
は11件の内町内業者8  
件、災害復旧工事は7  
件の内町内業者6件、  
町外業者請負工事3件  
の内2件が下請負をし  
ています。



耐震改修工事中の蘭保育園



坂本 満

**出会いから子育てへ  
の支援での課題は**

**質** 定住化促進で、  
次世代を視野に  
入れた取り組みとして、  
一連の子育て支援を施  
策としたのは初めてで  
はないかと思うが、課  
題はどこにあるか。

**答** 出会いから子育  
てへの支援につ

いては、継続的に統一  
的な視点を持って進め  
ることが大事で、住民  
にとってわかりやすく、  
利用しやすい施策につ  
ながると思います。  
また、若い世代の声  
を反映できる仕組みを  
作らないといけないと思  
います。

**質** 若い人との関わ  
りで、広域テレ  
ビを使った町の紹介等  
のサービスを述べて  
いるが、議会のテレビ  
放映はどう考えるか。

**答** テレビで知らせ  
るのは効果があ  
ると思いますが費用面  
の課題があり、どのよ  
うな方法がいいかはも  
う少し議論する必要が  
あると思います。

**坂下病院の問題と  
自治体の役割**

**質** 今回坂下病院の  
問題、国の  
「新公立病院改革プラ  
ン」政策により公立病

院を統廃合するような  
シナリオも出ている。  
地域の実情や今後の地  
域づくりを全く顧みな  
いようなこの問題で、  
憲法25条などの理念に  
照らして自治体の役割  
をどう考えるか。

**答** 国が大きく舵を  
切りつつある医  
療体制の中で大事にし  
なくてはいけないのは、  
住民の生活、福祉、医  
療に関わる部分、国  
の流れの中で翻弄され  
てしまわないように、  
身近なところをしかか  
りと守っていくことが  
一番ではないかと思  
います。

**質** 町の「福祉基  
金」の活用は今  
後どうしていくか。

**答** 財源的には限ら  
れたお金です。  
すぐに使うより、状況  
を見ながら本当に必要  
なときに出すという考  
え方です。

### 組織改革の主眼は何か

**質** 組織改革の主眼を伺いたい。

**答** 機構改革の狙いのひとつは、定住化推進や地域経済の活性化、リニアなど、特に対策が必要なところに専門的な部署を設置することです。

もう一つは、住民から見て使いやすく利用しやすい、親しみやすい、職員にとって業務を効果的に進めやすい職場になることです。

**質** 福祉、介護の問題、マイナンバーの問題など、国の制度があまりに煩雑過ぎて、職員の人数は減りながら業務は圧倒的に増えているのではないか。

**答** 一度に人員を増やすということではなく町の財政を考えるとできませんので、組織

の中で仕事を回したり、人を回して行いたいと思います。

特に役場幹部の研修、マネージメントもしっかり行い、役場という組織を活用して、住民と一緒に作った町づくりを進めていきたいと思えます。

**意見** 役場、地方自治体が本場の意味での住民の防波堤になってもらうこと、それだけでなく、国の政策に対して、言うべきことは地方からもしっかり言っていくことを願う。



早川 親利

### 所信表明を聞いて

**質** 長年の役場勤務、選挙活動の中から多機にわたり政策を述べたが、あれもこれもという感じで、目玉

的な政策がわからない。ミニ集会、行政報告会を実施したいようだが具体的な方法は。

**答** 各区単位、複数の区の合同単位で、町長と2、3人が出席し皆さんの意見を伺おうと思えます。希望の地区はどんどん申し入れて欲しいです。行政報告会は、従来の地域振興業議会単位で、町からの報告を主に、意見を伺います。しかし近年7つの単位で開催してきましたが、出席者が非常に少ないため、開催の方法、場所の検討をします。

**質** 沢山の町民の意見を聞くのも大切だが、余りにも沢山の収拾がつかなくなることもあり心配だ。町からの考えや政策を出して意見を聞くことは考えられないか。

**答** もちろん、町から考えや政策を掲げ意見を聞くことも

行います。

**質** 役場の機構改革の具体的な考えを聞く。

**答** 役場内で検討中です。皆様方の意見も聞き、10月に実施する予定です。

**質** 女子力の活用について、具体的な考えを聞く。

**答** 現在、女性が高いポストに就いていませんが、今後、活躍してもらえよう場づくりを進めたいと思います。

**質** 定住化には働く場所の確保、企業誘致も進めたいとのことだが、具体的にどのように進めるか。

**答** まず、小規模バイオマス発電施設の話しがあり、進めたいと思えます。まずは、地権者や地域の同意が必要と考えています。

**質** リニア中央新幹線について、対策協議会でリスク軽減等について協議しているが進まない。リニア中央新幹線の活用についてどのように考えているか。

**答** 中津川市などの情報を収集し、商工会を中心に進めていきたいと考えています。

### 坂下病院外科診療閉鎖への対応策は

**質** 8月から外科診療が閉鎖になり、内科医も1名退職となる。病院運営も大変なことになる。平成26年度の南木曾の住民の利用はどのくらいか。

**答** 通院患者が2万3739人で20・64%、入院患者が1万8577人で20・63%です。両方とも、坂下地区の次に南木曾町が利用しています。



坂下病院

**質** 平成13年の建設以来今年度までに支出した負担金の額はいくらか。

**答** 病院建設負担金として、平成13年から22年まで7963万円、救急医療負担金として平成23年から28年まで2804万円で合計1億763万円です。

**質** 今後、坂下病院が利用できなくなれば大変なことになる。これから中津川市に對しどのような対応策を取るか。

**答** 外科の閉鎖を聞き、すぐに市長に会いに行き坂下病院について要望をお伝えしました。市も、以前から2つの病院のあり方について検討しているようです。これからは情報収集を行い、坂下地区・大桑村等の周辺地域とも連携を取り、より良い方法を見出し、要望していききたいと思えます。

**意見** 住民の生命や生活を守るため、早急に地域住民や関係自治体と連携し、よりよい対策をお願いする。



北原 隆光

**若い人の定住で南木曾町の創生を**

**質** 所信表明の中に、「昨年1年間で130人の人口減少があり緊急事態と考え、

できることからやっつけていきたい」と述べられた。南木曾町の創生とは何か伺う。

**答** 国では地方創生という言葉を使っている事業を全国展開しています。南木曾町の創生は、若い人が住みたいと思えるような地域づくりが目標になります。そのため定住につながるアイデアや工夫を生み出し、次世代を担う人達の思いや気持ちを受け止め、魅力ある事業を作りだしていくことだと思っています。

**意見** 新町長で新しい行政が始まる。国の政策である仕事、人を呼び込み活性化を図るひとつの方法としてバイオマスを考えて欲しい。また、高齢化が進み人口減少の町に対し、現状の生活の維持サービスの低下をさせない施策の計画を町の創生として取り組むことを提言する。

**質** 町の長寿、高齢社会を目指す施策について、また、現在の医療体制維持と福祉施策について伺う。

**答** 介護、認知症などの大きな課題も私たちにのしかかっています。地域の連帯意識も変化してきています。住民と力を合わせて絆づくり、支え合いづくりが大切なことと思います。町民の声を聞き、小さなこと、できることから始めたいです。長寿の健康づくりも幼少期から取り組めます。食育、体育づくり、生活習慣に関する教育を子どもの時から始めるなど、住民へ提供できるプログラム作りが必要と思えます。

医療は、町内医療機関と坂下病院が中心です。維持に向けた取り組みが町の責任です。関係を密に連絡を取り、安心して医療が受けられるよう取り組みたいと思えます。

「うまくできたかい？まあまあかな。いきいき料理教室」



思う。常会が年に数回開催できるよつ、予算増を図れないか。

過疎の町の状況でしっかりした施策を作り、国への要望が必要です。

**常会の予算増を**

**質** 区、地区の集会所、地区の集会所について、常会が一番大切な場となる。常会は町の報告だけではなく一人ひとりの情報を得て、絆やつながりのある安心で住みやすい区、地域になると

**答** 常会と地域コミュニティは、町の行政組織上大切と考えています。区長さんを通じながら今後も理解していただくよう努力したいです。防災支え合い計画等、色々な場の利用や、ミニ集会などの話し合う機会を増やしていきたいと思えます。予算化は区の運営交付金と合わせて検討します。

**意見** 常会を年に複数回開催してもらうための一つの案として、予算増を提案するが、もっと良い案の検討も含めた実施を願う。

**議会の傍聴にお越しく下さい**

定例会は年4回（3月・6月・9月・12月）開催されます。詳しい日程などについては、音声告知端末放送、ケーブルテレビなどでお知らせします。

※6月の議会は、2日間で59人と、多くの傍聴がありました。



# 6月定例会 補正予算審議 (抜粋)

平成28年6月期補正予算（一般会計、特別会計）は6月17日の本会議で可決しました。  
（主な質疑：放課後子ども教室の設置、キッズスペース、保育所の運営、  
信州パーキングパーミット制度・上下水道など）

### 坂本議員

**Q** 今回の補正でまだ未計上の事業は。

**A** 総務課長

主なものは与川線防災工事、妻籠町中線の調査です。空き家の新築補助や薪ストーブなどは9月以降の地方創生で対応したいです。

**Q** 三軒家の井溝調査は、小規模水道の調査か。

**A** 建設環境課長

水源に課題があり、井戸が可能であれば井戸による水道整備を検討するための調査です。

**Q** 小規模水道の胡桃田の水源の取水施設についての考えは。

**A** 建設環境課長

現在県林務部で治山堰堤を工事中です。県と協議して治山堰堤から取水する方向で調整していく予定です。

**Q** 放課後子ども教室建設場所、着手、完成予定は。

**A** 教育長

サポーターと協議し、支援体制を整えて小学校体育館の梨子沢寄りの場所へ建設することを計画しています。今後、至急設計し、今年中に完成予定です。

**Q** 森林の国土調査はペースを上げたいとされているにもかかわらず、地籍調査が減額になっている。

**A** 産業観光課長

国に予算がないことが理由です。

**Q** 妻籠分館設計費が計上されている。旧中学校の利用も含めて妻籠分館をどうするかの話が煮詰まってきたと理解しているか。

**A** 教育長

旧妻籠中学校の保存についてまだ結論は出ていません。今後、地域と相談して結論を出します。今回の測量設計費は、地形、ボーリング調査等の設計費を実施計画どおり載せたものであり、変更になる可能性もあります。

### 高橋議員

**Q** キッズスペースはどういうものか。

**A** 町長

子どもが遊べる広場を南木曾会館へ造りたいと思います。

**Q** 植樹祭の後の管理はどうしているか。

**A** 産業観光課長

管理は地元中心で行います。

活着状態は、漆畑地区は9割、清内路トンネル手前の256号沿いでは3割位です。

**Q** 区の道路愛護作業の補助金の算定の基準は。

**A** 建設環境課長

道路の延長、参加人数を考慮し、予算額を全体で按分して交付します。

**Q** 長野いすゞ木曾工場が撤退をする話があった。町内の業者を大事にするのは大切か。

経済的ダメージも大きいと思うが、何か対応はできなかったのか。

**A** 産業観光課長

一番の問題は従業員確保であり、町や関係機関で従業員を探すので何とか継続してもらえようお願ひしてきましたが、経営者も変わり会社方針は変えられないとの返事でした。

**Q** 保育所の運営で、保育の基本から考えると長期休暇は必要なのではないか。

また、希望保育のと

り方も問題がある。今年も昨年同様の夏期休業が行われるのか。

**A** 住民課長

希望保育は、保育所管理規定の第9に規定され、長年運営されてきています。

希望保育のあり方は、保育時間の延長などの課題も含め、保護者会の意見もききながら協議を進めていきたいと思ひます。

**A** 園長

26年、27年の夏期希望保育の利用状況は、8月の第1週までは50%、お盆前後は10%、お盆中は0%であり、前もって希望をとる必要性があります。

**A** 町長

数日間バスの問題、予算の問題は簡単に解決できませんが、前向きに検討したいと思ひます。

希望のとり方などは改めていきます。

### 矢澤議員

**Q** 約153万円補正されたCO2削減促進事業とは何か。

**A** 建設環境課長

環境省の補助金を活用する事業です。南木曾町衛生自治会を中心にゴミの減量化やりサイクル活動に努めてきています。

家庭での省エネ普及の啓発、家庭の省エネアドバイザー育成、講演会などの実施を計画しています。

**Q** 信州パーキングパーミット制度の普及と手帳での認証がでないか。  
**A** 町長 制度の周知をしたいと思えます。

※信州パーキングパーミット制度は「障がい者等用駐車場利用証制度」で、障がい者や高齢者など移動に配慮を要する方々からの申請に基づき、県内共通の駐車場利用証を交付する制度です。

早川議員

**Q** 桃介橋修繕調査費760万円計上の理由は。

**A** 建設環境課長 昨年の調査の結果、木にカビが発生し腐食が進んでいる状況を確認したため、全体的な調査が必要となったものです。

**Q** 三軒家の井戸の調査はリニアでの減濁水

対策に関連づけられないか。

**A** 建設環境課長 リニアで心配される水源は向ヶ原と妻籠で、三軒家の改修は別に考えます。リニアの代替水源についてはJRへの要望を検討します。

**Q** 通院バスのステップが高くて困るが何とかならないか。

**A** 総務課長 業者と検討します。

北原議員

**Q** 地域バスで蘭地区の額付親水公園にバス停を作れないか。

**A** 総務課長 地域公共交通会議で検討します。

近藤議員

**Q** 森林病害虫50万円を補正し約800万円の予算となった。現在の状況は。

**A** 産業観光課長 当初予算は北上防止の事業で、現在約50

0万円実施しています。補正50万円は、公共道路付近のマツ枯れによる被害木伐倒の費用です。

**Q** 放課後子ども教室が空き教室で行えないか。

**A** 教育長 現在空き教室はないので、放課後子ども教室の施設を設置します。空いている時間は別の子育て事業への有効活用を検討していきたいと思えます。

松原議員

**Q** 水路の災害復旧をしたが、小学校の池はどうなるか。

**A** 教育長 まだ水量が安定していません。水車の寄付もあり、後日改めて池の復旧をします。

坂本議員

**Q** 上下水道関係について、法非適用企業か

ら法適用企業へ移行する説明は。

**A** 建設環境課長 公営企業法の適用については、これまで細かい説明はしていません。国の方針により法適化を進めるものです。

**Q** 各会計で固定資産台帳整備に1千万円ずつかかる。健全化、効率化というが、独立採算制が強まって水道料金の上昇に発展するのではないか。

**A** 建設環境課長 固定資産台帳整備に

対し1-2が交付税で措置されます。

独立採算を求められますが、公的な事業には変わりなく、一般会計からの繰入金を受けながら運営することになります。施設の統合や運営方法の見直しに固定資産台帳を活かしていきます。

北原議員

**Q** 経営戦略では一般会計の繰り入れをその計画に見込んでおくという解釈でいいか。

**A** 建設環境課長 収支計画も経営戦略の中で作るということになっており、それでいいかと思えます。

**Q** 将来的に、3つの会計をまとめることが出来るのか。

**A** 建設環境課長 今は論議していませんが、固定資産台帳が同様に整備されれば可能と考えます。

平成28年6月期補正予算  
 一般会計補正予算 1億3092万円を増額  
 総額 37億5892万千円に

●会計別補正予算 (単位：千円)

会 計	補正額	補正後の金額
一般会計	130,920	3,758,920
国民健康保険特別会計	15,454	581,921
簡易水道事業特別会計	21,807	189,327
町営妻籠宿有料駐車場特別会計	3,257	40,399
下水道事業特別会計	23,250	96,353
農業集落排水事業特別会計	18,160	91,479
浄化槽市町村整備推進事業特別会計	138	91,087

●主な補正内容 (単位：千円)

事 業 名	金 額
三軒家井溝調査経費	3,250
CO <sub>2</sub> 排出削減促進事業	1,532
妻籠分館概算設計費	1,990
小水力発電概要設計書作成経費	5,500
桃介橋修繕調査費等	7,600
放課後子ども教室建設工事費等	21,132

# 全員協議会 議会と町の意見交換 (6月13日)

- ・熊本地震に対する支援、見舞金等報告
- ・戸籍に係る電子情報処理組織事務の委託
- ・小水力発電計画
- ・地方創生推進交付金のための地域再生計画
- ・小規模バイオマス発電
- ・国保坂下病院外科の閉鎖

## 熊本地震に対する支援・見舞金等報告

4月14日に熊本地方で発生した地震による被災地への町の支援の内4月25日報告以降の状況は次のとおりです。

**義援金・見舞金**

- ・全国町村会で公費義援金対応が決定し25万円を支出。
- ・被災された美しい村連合加盟町村（南小国町・高森町）に各5万円を送金。
- ・町民からの義援金として5月6日46万3610円、6月6日10万4838円を送金。

## 地方創生推進交付金のための地域再生計画

**説明**

推進交付金とは地方総合戦略に基づく地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を、複数年度（最高5

年）にわたり安定的・継続的に支援するもので、内閣総理大臣から地域再生計画の認定を受ける必要があります。

対象事業分野は、しごと創生、地方への人の流れ、働き方革命、まちづくりです。

町の総合戦略に盛り込んだ事業は、個人や個別企業への給付経費が含まれているなど、今回の基準を満たしていないため、自立性や地域間連携等の要素を持つような事業に練り直す必要があります。

### 北原議員

**Q** 第9次計画を元に作成した計画はどれだけ認定されるか。「地域再生計画」はゼロから考え直すのか。

**A** 現時点では不明です。

総合戦略の基本的考えはそのままで、別に「地域再生計画」を作る必要があります。既存の考えに拘わらず、先駆性のあるものを計

画します。

**Q** 公募した委員会への対応は。

**A** 事業そのものは継続を考えています。委員会には現状を理解していただけるよう説明をする予定です。

### 坂本議員

**Q** 地方創生は、人口減少の中で戦略を立ててやっていくことを目的に始まったことだが、「地域再生計画」と「総合戦略」とも最終的に国からの補助率は半分になっている。地域で良いと思うことを計画しても認められなければ進まない。これが創生事業と言えるのか。

**A** あれもこれもダメでは住民に説明がつかない。

**Q** 当初は「何でもできますよ」とのことでしたが方針が変わってきています。ただ、半分であったも補助金をいただくため、国に納得してもら

える計画を提示していかなくてはいけません。国へは当初の計画を実行できるように要望しています。

本当に必要な事業は、交付金が出なくてもやっていくつもりです。

### 近藤議員

**Q** 実施計画にあるものは進めるべきだが、財源はあるのか。他事業への影響はないか。

**A** 財源は予備費を充てますが、9月頃に見直します。

## 戸籍に係る電子情報処理組織事務の委託

**説明**

戸籍事務のコンピュータ化は全国的に行われており、維持管理経費が半永久的に発生すること、国が定める5年に一度の電子機器の更新経費は大きな負担となっています。経費削減や「第二バツ

クアップサーバー」を設置することにより戸籍データの滅失を防ぐため戸籍共同化を行います。

木曾町役場へ戸籍機器を設置し、木曾町が一括管理します。委託町村は上松町、南木曾町、木祖村、王滝村及び大桑村で、10月稼働予定です。

### 坂本議員

**Q** 戸籍はどこからデータ化されているか。

**A** 明治19年式戸籍以降の戸籍すべてがデータ化されています。

**Q** 事務処理は木曾町でも行えるのか。

**A** データは完全分離しており事務処理は各町村で行えませんが、

### 北原議員

**Q** 現状のままではいけないのか。

**A** 経費削減のため共同事務を考えています。

**Q** 木曾広域でできないのか。

**A** 町村固有の事務であり木曽町に管理を委託するのが望ましいと考えます。

**小規模バイオマス発電について**

**説明**

新エネルギー開発株式会社から2MW級バイオマス発電事業について提案説明が町にありました。

発電出力1990kWで発電タイプはボイラーの発生蒸気を用いた汽力発電（直接燃焼方式）とバイオマスの熱分解によるガス化発電方式による2通りの案があり、使用燃料は木質チップ年間約3万トンとなっています。

**坂本議員**

**Q** 発電所建設は、どの範囲を考えているのか。燃料確保については、どんな状況か。

**A** 郡内で2カ所くらい考えているようです。

燃料は、1カ所約2〜3万トンと推計されています。

**Q** 発電だけではなく排熱利用や森林整備なども含め、総合的に行わないと事業として難しいか。

**A** 総合的に考えて進めていく必要があると考えています。

**近藤議員**

**Q** 過去に5MWでは小規模で採算ベースとして難しいとのことですが、事業撤退した経緯があるが2MWでできる理由は何か。

**A** 2MW以下のバイオ発電に対する国の補助制度や売電価格が変わったことや、既存の送電線が使えるために新たな高圧線建設の必要がないためです。

**小水力発電事業計画について**

**説明**

再生可能エネルギー

のひとつとして小水力発電の研究を進めてきました。

平成27年6月に地形的に有望な既存水路8カ所を選定し、その内3カ所（大沢田沢、伊勢小屋沢、田立の前沢）について長野県土地改良連合会（長土連）へ「小水力発電案件形成業務（事業費200万1800円）」を発注し、平成28年3月に業務が完了しました。

その結果、採算性を考慮した県の採択基準単価から、大沢田沢での計画が補助対象となることがわかりました。実施した場合には、工事費は約5700万円（1・2は補助金）、償還年数20年として、維持管理費を除いた年間利益は約186万円と試算されます。平成28年度は水利組合、地元への説明を行い、実施へ向けた計画づくりを行う予定です。

**早川議員**

**Q** 8カ所のうち3カ所以外はどこか。

**A** 田立（長谷川砂防ダム・大野上・牧平）、蘭（本原）、北部（小吹）です。

**Q** 有効落差というのは。

**A** 現状水路を測量した落差で、大沢田では長さ254mの活用区間での落差です。

**Q** 細野洞水利組合への事業説明会には地権者も含めて行うのか。

**A** 地権者を含めた関係者参加の下で行う予定です。

**Q** 利用した水はもとの水路に戻すのか。

**A** 全量戻す計画です。

**坂本議員**

**Q** 具体的などころまで話が進んでいるが、計画図はないのか。他の場所での小水力発電との比較で、工事費の5700万円は妥当か。概略の図でもないとい

いは言えない。

**A** 平成30年に実施の計画でしたが、県の予算付けがあり急遽このような形になりました。

**Q** 土石流などのリスクも含めた検討はどうか。水力発電ではゴミと砂が問題だ。維持の問題は大丈夫か。

**A** FIT期間20年の間に災害に遭う危険性については、どこで行ったとしても可能性はゼロではありません。大沢田地区の資料は、できる限り出します。

**高橋議員**

**Q** 伊勢小屋沢の有効落差が9・6mであるが、上の堰堤だとともに落差がとれるのでは。

**A** この事業は既存の農業用水路を利用したものが対象となります。

**Q** 発電の施設があった大洞沢など落差が大きい所を調査すべきでは。

**A** 長土連と相談して、他所での可能性がない

か確認します。

**北原議員**

**意見** 南木曾の資源は水と木であり、有効活用すべきだ。発電所は最も有効だと思う。

梨子沢の例もあり、災害に遭わない場所です。計画して欲しい。

伊勢小屋付近には桃介記念館、中学や社会体育館もあり、小水力として場所的にも金額的にも良いと思う。

**国保坂下病院 外科の閉鎖**

**説明**

6月2日、国保坂下病院から外科の診療について、FAXでの連絡がありました。

8月15日から診察は無くなるというもので、理由は大学病院からの外科医師派遣がなくなること、常勤外科医師が8月に退職するためです。

現在の外科通院者、



入院者へは中津川市民病院などへ転院の対応をとります。健康診断は、新たに開業する外科医による対応などを検討します。

なお、血管外科はこれまで通りの診察となります。

現在、国の政策により地域医療構想が各県で策定されており、今後、町としては、中津川市公立病院改革方針に関する情報収集、改革方針に対する中津川市民、地域の取り組みに関する情報収集、市民の通院、入院環境の変化、影響に関する課題整理と要望活動など取り組んでいきます。

伊藤議員

**Q** 利用率は20%を超え、町民にとって大事な病院だ。外科がなくならないことをFAXだけの連絡はモラルとしてどうか。

**A** 病院側によりまずと、個人に関わることもあり事前の通知はで

きず、明確になった時点でFAX連絡したとことです。

**Q** これまでの町と病院との関わり方はどうであったか。

**A** 病院の経営と負担金のあり方について、3年に1回見直しの時期に協議を行っていました。

なお、中津川市のHPでは27年度に市の地域保健医療計画が策定され、あり方が示されていますが、加えて県の地域医療構想も出てきています。

外科の閉鎖もそうですが、いつのまにか診療所になっていったということがないような取り組みが必要です。

背景には市の中で病院経営を一定の方向で進めていこうとしており、その方向を決めるのが今年です。先にできる限りこちらから町の考え方、住民の意見をきちんと伝え、坂下病院がどうあるべきかを中津川市で位置づけていただきたいと考え

ます。

議員も情報収集や共同の活動を含め、中津川市側に坂下病院は木曾に不可欠な病院だと伝えて欲しいです。

坂本議員

**Q** 外科医がいなくなるといふことだが、後任をあてがえれば閉鎖はない。後任の外科医の状況は。

**A** 後任の確保については、地方の病院に来る先生の確保は非常に難しいとのこと。木曾病院も同様だと思います。

愛知医大、名大の系統となると思いますが、お願いしても先生に来てもらえないのが実状です。

**Q** 地域は地方創生で何とか活性化しようという国の政策がある。医師がいなくなることで大事な医療の一部、病院が閉鎖される。国としてこういう地域に支援をする制度はないのか。

**A** 民間の病院もあり、

具体的な制度は承知していません。木曾病院については、経営的に厳しいなかで、県としての対応もあると思いますが、国からの支援については厳しいものがあると思います。逆に国は医療機関が沢山ある中で、本間に必要な医療ベッド数、医師数はどうかという精査をしています。

地域としては都市部に施設、人材も集中してしまうので財源的なことも含めて要望しないと、医療が減少してしまうと思います。

**Q** 中津川市の地域保健医療計画(平成27、32年)を見ると、市民病院も坂下病院も非常に重要としている。

実態は国が「新公立病院改革プラン」を平成27年度から始めている中で、総合病院を止めて老健施設に移行するようなガイドラインになっている。

その辺りはどう感じているのか。

**A** 情報を集めること

が大切だと思います。

坂下地域の考えも聞く中で中津川市を窓口として考え一緒にできることはやっていきたいと思えます。

矢澤議員

**Q** 外科や救急医療に對して不安があり対応が必要だ。

今後の取り組みの中に中津川市民病院のドクターカーの連携強化が必要と考えるが。

**A** ドクターカーの件はこれからも検討していきますが、坂下病院を第一にしながら市民病院との連携も考えていくべきだと思います。

**Q** 通院バスも、新しく開業する外科医まで行けるような検討が必要でないか。

**A** 状況は分かりませんが、必要であればバス運行の課題も含め検討したいと思えます。

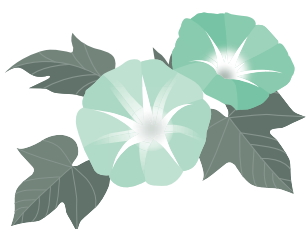
近藤議員

**Q** これからの課題整

理と、要望活動が問題で、大桑村、南木曾町だけでなく、坂下、加子母、付知など他の地域の方々と一緒になくて要望活動を進めていく必要があるのではないか。

**A** 少しでも広い範囲で要望を取りまとめたいことが大切と考えます。

坂下の関係者などと、話をしていきますが、中津川市議会の特別委員会などといった話が出てくるかなどを踏まえ必要な対応を行います。



総務文教常任委員会 報告

坂下病院はどうなるのか？ 対応を検討

6月17日の総務文教常任委員会（委員含む全議員参加）において、坂下病院の外科診療閉鎖や今後の病院改革などへの対応を議論しました（P.33の全員協議会の内容も参照のこと）。

I. 概況

1) 「坂下病院外科の閉鎖について」

7月から金曜日の診察が無くなり、8月15日から全ての診察が無くなります。理由は、大学病院からの外科医師派遣が無くなること、常勤外科医師が8月に退職することです。病院側では、現在の通院者、入院者について今後も対応することとしています。

2) 「中津川市における市民病院と坂下病院、2つの公立病院の改革検討について」

6月14日、中津川市議会の特別委員会で「中津川市公立病院機能検討委員会の中間報告」の検討が行われ、中間報告の内容が公開されました。この報告では、現状の課題（病床数、設備投資、資金、医師看護師の確保、国の医療政策への対応など）の抜本的な改革が急がれる状況にあると判断した上で、課題の改善のための4つのシナリオを示しています。

①各シナリオの坂下病院についての考え方

- ・シナリオ1：病院を閉鎖し、中津川市民病院の1病院体制とします。
- ・シナリオ2：病院は診療所化（内科と透析部門のみ）し、介護老人保健施設を併設します。
- ・シナリオ3：病院に地域包括ケア病棟を設置し、介護老人保健施設を併設します。
- ・シナリオ4：現状とほぼ同程度の診療で、入院機能を1フロアにし、坂下老人保健施設を移設します。

②中間報告のまとめの概要

5年後（H32）のあるべき姿を目標に改善計画書（新公立病院改革プラン）を作成し、計画的に実行します。

大多数の意見ではシナリオ2が支持され、坂下老人保健施設は坂下病院に移設する方向です。地域医療構想は、県に強制力はありますが、

国が強制力を持って進めることが予想されます。

II. 委員会での討議概要

委員会では、中間報告の内容、中津川市や坂下病院からの情報提供のあり方、今後のスケジュールの対応、町の課題や取り組みの方向などについて議論し、以下の内容を確認しています。

- ・今後の中津川市でのスケジュールや情報の把握と、委員会として取り組みや課題を整理します。
- ・6月30日に行われる中津川市第5回検討委員会での検討結果及び、7月13日以降に坂下公民館などで行われる住民説明会への対応を図ります。
- ・中津川市の方針決定前には、他地区とも連携しながら南木曾町から要望していくことを検討します。

蘭保育園の耐震改修を視察

6月28日小雨の降る寒い日に、議員7名で蘭保育園の耐震改修工事の現場視察を行いました。

工事は順調に進み、建物の外壁等が取り払われて屋根、基礎部分と柱などの構造材だけが残る状態でした。屋根の雨漏り部分や水場部分の木部はかなり腐りがあり、構造的な問題も併せて改修していく必要があると感じました。現在蘭の保育園児は読書保育園に通園していますが、早く工事が完成して地域に子どもたちの明るい声が戻ればと思います。



編集後記

新人議員として臨んだ初めての例会も終わりホッとしましたのも束の間、次は編集委員の仕事が待っていました。

一字一句を凝縮するのは難しいですが、議員の皆さんの質問内容、行政側の返答はとてども勉強になります。これからも先輩編集委員に教わりながら、住民の皆さんにわかりやすくお伝えできるように頑張りたいと思います。

編集委員・委員長

坂本 近藤 伊藤 満 寿子(記)

リニア新幹線特別対策委員会 報告

6月17日議員全員参加で、リニア新幹線特別対策委員会を開催しました。内容は、議会改選に伴い、昨年までの経過報告を行い、新議会での取り組みの確認を行いました。リニア中央新幹線計画について、議会としては反対はしないが、町と歩調を合わせ、町、地域住民のリスク削減に努力します。また、6月14日に開催された対策協議会でJR東海から回答があった要請書兼質問書No.4について議論しました。